



採血を受けられる方へ

採血は、基本的には安全性の高い手技ですが、ごくまれに次のような合併症(併発症)が起きることがあります。

これまでに下記症状が現れたことのある方は、事前にお知らせください。

●アレルギー

消毒薬(アルコール)や駆血帯・止血用ベルト・絆創膏などでかゆみ・発疹などのアレルギー症状が出現することがあります。



●血管迷走神経反射

心理的に緊張や不安が強いと、神経が興奮し急激に血圧が下がることによって、めまい・気分不快・意識消失などを引き起こすことがあります。

報告によりさまざまですが、0.001%~1%の頻度で起こるとされています。



●神経損傷

針先が神経に触れ、神経を傷つけることがあります。鋭い痛みやしびれなどを感じた時は、すぐにお知らせください。約1万~10万回の採血に1回の頻度で起こるとされています。皮膚表層近くの神経は個人差が大きいいため、神経損傷を100%防止することはできませんが、通常の採血では太い神経の断裂などの可能性は低く、損傷は軽度で、症状は軽く一時的な場合がほとんどです。



(参考:標準採血法ガイドライン(GP4-A3)日本臨床検査標準協議会)



ご不明な点・ご不安な点がございましたら遠慮なくスタッフにお尋ねください。

ご理解ご協力をお願いいたします。